

女子大生が能楽を通じて伝えた3つのこと

京都光華女子大学

能

30秒で知る！4つのポイント

- 1 入場無料、地域の方も伝統芸能を体験できる（地域還元）
- 2 技術を習得する中で得る礼儀作法と他者への気配り（大学生）
- 3 伝統継承、人生の先輩から学ぶ「能」の魅力と「心」の教育
- 4 「能楽部」は開学以来約70年、最も長い歴史を誇る

開催日時 5/23（土） 13：30-16：30 河村能舞台

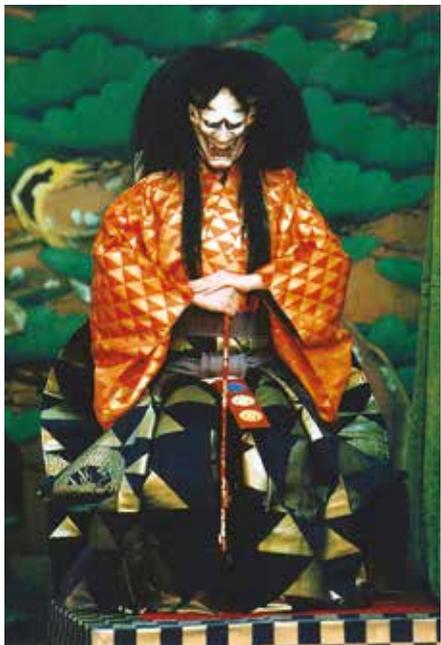
京都市上京区烏丸通上立売上ル西側 主催：河村青嵐会 河村晴久氏



▶基本情報

京都「花の御所」ゆかりの地に佇む「河村能舞台」では、毎年青嵐大会が開催される。河村晴久氏（かわむら・はるひさ＝能楽師観世流シテ方）のお社中の方々と京都府立大学をはじめ京都光華女子大学・大阪府立大学の三大学能楽部が「仕舞（しまい）」と「連吟（れんぎん）」勤める。本学能楽部は、故・河村晴夫氏（晴久氏の父）に開学70年来ご指導を頂いていた伝統がある。

入場無料。お茶席もあり、日常ではなかなか体験できない伝統芸術を誰もが気軽に観ることができる。



▶学生は、授業を終えた後に能楽の世界で技術と自身を磨く。

それは、人生の先輩達と共に能楽を通じて得る「行儀」や「一般常識」を学ぶ時間でもある。学生が常に心がけていることは、「気配り」。相手が何を求めているのかを常に先読みをして行動をする習慣が身についた。それは、お稽古前の準備に始まり、お稽古後のお茶出しまで続く。むろん、「表現者」として得たこともある。動と静で洗練された動きに託すことで、観客と一体になり能の世界観へ引きこむ難しさも学ぶ。

▶点が繋がり先になり、線がやがて面をつくる。それが伝統継承。

個人ではなくチームで取り組む大切さも学ぶ学生。自分たちが、今を受け継ぐ点であるなら、先輩方との繋がり線となる。先が組み合わせることで、面となり全員で能楽の魅力を現代と後世へ受け継いでいきたい。



京都光華女子大学

京都光華女子大学大学院／京都光華女子大学短期大学部

【担当窓口】

入試広報部 堤 優（つつみ ゆう）

TEL 075-325-5221 京都市右京区葛野町 38

いつもご取材お疲れ様です。本日もどうぞよろしくお願い申し上げます。